



# 上菅田中学校だより

第8号 平成29年12月1日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

「いっしょに読もう！新聞コンクール」神奈川審査で、<sup>かみちゅうせい</sup>上中生が  
中学生部門で**最優秀賞・優良賞・奨励賞**を受賞しました。  
しょうれい

（上菅田中学校は、神奈川審査で学校賞、全国審査で学校奨励賞を受賞しました。）

小中高生たちが家族や友人といっしょに新聞記事を読んで感想や意見をつづる日本新聞協会主催の「いっしょに読もう！新聞コンクール」に上菅田中学校の3年生が参加しました。このコンクールは、新聞を読むことで（1）社会への関心の広がり<sup>うなが</sup>を促す、（2）社会の課題への「気付き」を促す、（3）家族・友だちとのコミュニケーションを促す、（4）考えを深める姿勢を促す、（5）考えをまとめて表現する力<sup>つちか</sup>を培う——ことを目的としています。昨年度から<sup>エヌアイイー</sup>N I E（Newspaper in Education）実践校として、新聞を教材として活用する活動に取り組んできた上菅田中学校としては、生徒の受賞と学校賞の受賞の知らせは、とてもうれしく、<sup>はげ</sup>励みになる知らせでした。

第8回「いっしょに読もう！新聞コンクール」神奈川審査受賞者

**最優秀賞** 3年1組 <sup>はせべゆうすけ</sup>長谷部優祐さん

**優良賞** 3年3組 <sup>なかむらゆうあん</sup>中村優杏さん

**奨励賞** 3年3組 <sup>もりけんしょう</sup>森憲奨さん、3年2組 <sup>かみえかずし</sup>上江和志さん、3年2組 <sup>よしかいしょうま</sup>吉開聖真さん



「税についての作文」で3年生3名が受賞！おめでとうございます。

神奈川県納税貯蓄組合連合会 **優秀賞** 3年1組 <sup>しもさかなつみ</sup>下坂夏未さん「地球温暖化と税」

横浜市税事務所長賞 3年1組 <sup>もりあやか</sup>森彩楓さん「学ぶということ」

保土ヶ谷間税会長賞 3年1組 長谷部優祐さん「特異な国家、日本」

情報の<sup>しんぎ</sup>真偽や<sup>みきわ</sup>質を見極める力、自分で考え判断する力、考えたことを言葉で表現する力は、これからの社会を他者と相互理解を深めながら生きていくために不可欠です。それらの力を高めていくためには、学校での授業や家庭での日常生活の中で、良い習慣を継続していくことが大切です。本や新聞を読む習慣もそのひとつです。私は、パソコンやスマホのように<sup>こうげん</sup>光源をもつ機器の画面上で得た文字情報に基づく知識は、定着しづらく、理解や思考も深まりにくい、ミスも見過ごしやすいということを日々の仕事の中で実感しています。紙の本を読む、紙の新聞を読むという習慣を軽視してはいけないと、個人的には強く思っていますが、みなさんはどうお考えでしょうか。

## 長谷部優祐さんにインタビュー

表面で紹介された、長谷部優祐さんに高浪裕子（本校主幹教諭、司書教諭）がインタビューをしました。長谷部さんの新聞に対する思いや学習に対する考えを答えてくれました。参考にしてください。

高浪 長谷部さん この度は新聞コンクール 最優秀賞おめでとうございます。  
ところで、長谷部さんは新聞をいつごろから読んでいますか。

長谷部 小学校の5, 6年から読んでいます。

高浪 読めない漢字とかはどうしていたのですか。

長谷部 飛ばして読んでいました。あと、前後の文脈から想像して読んでいました。教科書に出てくる言葉は辞書で調べるのですが。

高浪 新聞を読んでいて、ためになったことはありますか？

長谷部 ニュースに敏感になったことと、多少語彙力がついたような気がすることです。  
新聞を読んで、すぐに成績に結びつくわけではないけれど新聞は、勉強になります。

高浪 前に友達との会話も新聞によって弾むようなことを言っていましたね。

長谷部 はい、国語や社会のスピーチで新聞を使うことによって、友達との会話も弾みました。

高浪 表彰式の後、新聞博物館見学や、講演会で熱心にメモを取っていたようですが  
様々なことに、好奇心旺盛ですね。

長谷部 生徒会の防犯サミットなどに参加することによって、メモを取る習慣が身に付きました。  
好奇心については、自分では、広く浅くですが、様々なことに興味を持つようにしています。

高浪 長谷部さんの学習に関する心構えを教えてください。

長谷部 国語の漢字や計算練習はあまり好きではありません。でも、今学生だから頭に入るし、**将来必ず役に立つ**と思って、頑張っています。

表彰式の講演会で講師の先生が、「これからの時代は、答えが一つでないことや答えが出ない事柄が多くある世の中になる。だから『創り出す力』『思考力』が重要になってくる。」  
と言っていました。新聞などを読んでこのような力をつけたいと思います。

高浪 日常生活を大切にして、これからもたくさん学んでくださいね。

長谷部 はい、日々の生活を大事にきちんと取り組んでいきたいと思います。



読書新聞、神奈川新聞のインタビュー記事